

マザー・テレサ 真鍋 和子

めあて

「マザー・テレサ」を読んで感想を交流し、学習課題を決めよう。

伝記・・・ある人の一生のこうせきを述べた記録

生い立ち

- ・ 何不自由ない生活
- ・ 貧しい人たちのために
- ・ 働こうとインドへ

なぜ、貧しい人
のために働こう
としたのか。

テレサがしたこと

- ・ 青空教室
- ・ 孤児（こじ）の家
- ・ 死を待つ人の家

なぜ、こんなにも
人のためにつく
せるのだろう。

テレサの考え方

- ・ 貧しい人は美しい
- ・ 心の底から人を愛する

なぜ、貧しい人を
見すてないで助
けようとしたの
だろう。

学習課題

テレサのしたことや主な出来事をまとめ、テレサの考えや
生き方について考えよう。

自分で読んだ伝記をしょうかいするカバーを作ろう。

他の伝記も読みたい。

くわしく読みたい。

【1 / 11 時間目 指導略案】 感想は児童のノートに記録させる。
活動のねらい

初発の感想を交流し、学習の課題を決めることができるようにする。

1 学習の見通しをもつ。

伝記とは、何かを考える。(想像する。経験述べる。辞書で引く。)
単元冒頭のリード文を意識しながら、教材文を読む。

三つの視点(テレサの生い立ち、したこと、考えたことと、それ
に対する自分の考え)を意識する。

初発の感想を書く。

2 初発の感想を交流する。(ノート)

(発問)三つの視点について、心に残ったことと、その理由を発表しまし
よう。

児童の感想は、「生い立ち」、「テレサがしたこと」、「考えたこと」
などに類別して板書し、整理していく。

生い立ち(インドへやってくるまでのこと他)

テレサがしたこと(青空教室、孤児の家、死を待つ人の家、他)

テレサの考えたこと(貧しい人は美しい、心の底から人を愛する。
他)

3 学習課題を確認して、今後の学習の見通しをもつ。

・ テレサのしたことや主な出来事をまとめ、テレサの考えや生き方
について考える。

・ 自分で読んだ伝記を紹介するカバーを作る。

【評価】初発の感想を交流し、学習の課題について話し合っ

て。

マザー・テレサ 真鍋 和子

めあて

場面を分けて、学習計画を立てよう

九	八七六	五	四	三	二	一	
一九九七年	一九七九年				第二次世界 大戦が終 わった翌年	一九二九年	いつ
生がい	ノーベル平和賞 飛行機でのエビ ソード 国際会議での演説	死を待つ人の家	孤児の家	青空教室	神の声 テレサの決心	貧しい人のためイ ンドへ 地理の先生に	できごと
いて考えよう	周りの人はどのよう に考えたのだろう	なぜ死を待つ人の家 を作ったのだろう	なぜ孤児の家を始め たのだろう	なぜ青空教室を始め たのだろう	テレサはなぜ決心し たのだろう		学習課題

場面ごとに、テレサのしたことや考えたことを読み取っていき

新出漢字

独立 絶対 預かる 手製 手術 業績 率いる 能率
編む 厚い 測る

2 / 11 時間目 指導略案 ワークシート

活動のねらい

場面を分けて、学習計画を立てることができるようにする。

1 テレサの生涯を年表にまとめ、場面分けをする。

(発問) 年号やテレサのことに着目して、年表にまとめましょう。

自分でテレサが行ったことを年表にまとめろ。(ワーク)
全体で、テレサが行ったことを確認し、場面分けをする。

(ワーク)

年表に表すことで、教材文の全体構成に気付かせる。

2 場面ごとの学習課題を確認し、学習の計画を立てる。

(発問) 特に心に残ったことや、読み深めたいことはどんなことですか。(場面ごとに問いかける)

場面ごとに、読み深めたいことを全体で話し合い、学習課題を

【評価】年表に整理したことをもとにして、学習の計画について話し合っている。

3 新出漢字を学習し、難解な語句の意味を調べ、確認する。

マザー・テレサ 真鍋 和子
めあて

テレサはなぜ決心をしたのか考えよう。(一・二の場面)

インド：イギリスの植民地 念願の独立

すべてのことがうまくいくようになったわけではない。

貧しい人たちのすがた

- ・ 着の身着のまま
- ・ はだしの子どもたち
- ・ 道ばたにたおれたまま
- ・ 栄養失調で目とはらがとび出している。
- ・ 土地や家を失った人たち

毎日同じ服を着ている。弱っている。生きているだけで精一杯。助けてもらえない。インドではよくあること。

テレサの決心

「貧しい人たちのために働く。」

- ・ インドへやってきたのは、この人たちを救うため
 - ・ 神の声が聞こえたような気がした
- 「貧しい人たちの中に行き、
貧しい人たちのためにすべてをささげなさい。」

貧しい人たちのすがたを見て、つくしたいと思った。神様の言うとおりに、すべてをささげようと決心した。テレサの心の中の声が、神の声となって聞こえた。

テレサは、貧しい人たちの姿を見て、その人たちのために働く決心を強くした。

3 / 11 時間目 指導略案 ワークシート カバー
活動のねらい

テレサの言葉に表れた決心を読み取らせる。(一・二の場面)

1 インドの国の背景を押さえる。

インドがどのような状況にあったのかを叙述から探す。
「植民地」「独立」などの難語句は、辞書を引いたり、教師の補説を聞いたりして理解する。

2 貧しい人たちの姿が分かる表現を叙述から探し、読み取る。

叙述に、黄線を引く。
「・・・まま」などの言語表現に着目して、人々の姿を想像する。

3 テレサがなぜ決心をしたかを考える。

(発問) 何不自由ない生活をしていたテレサがなぜ、「貧しい人たちのために働きたい」という決心をしたのでしょうか。
テレサの言葉や心内語に、赤線を引く。
修道院にいたテレサにとって神とはどういう存在か、考える。
テレサは、貧しい人たちの中で、神が言ったとおりにすべてをささげる決心をしたことを、叙述を根拠にして話し合う。

【評価】テレサの言葉や心内語に表れているテレサの思いを読み取っている。

4 ブックカバーを書き、本時の学習のまとめをする。

一・二の場面のあらすじ、心に残ったテレサの言葉や行動、自分の考えを短くまとめて書く。

色分けして叙述に線を引く。(貧しい人たちの姿...黄線、テレサの言葉...赤線)

めあて

インド

インドの人たちの様子

どういうことだろう。
考えてみよう。

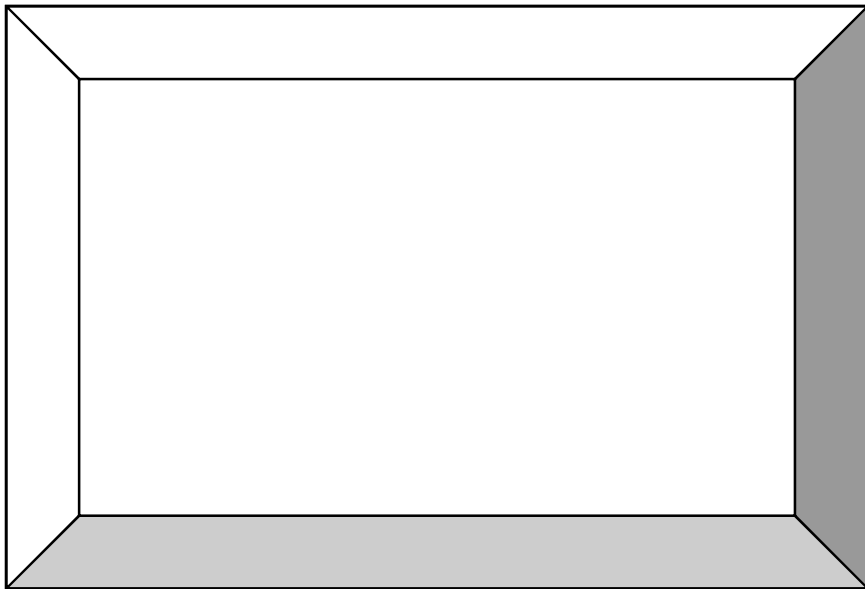
テレサの決心

なぜ決心をしたかが分かる表現

テレサの考え

まとめ

- ・ テレサの考えや思いを考えることができた。()
- ・ 友達の考えと比べて、自分の考えを深めることができた。()
- ・ テレサの生き方について、自分の考えを書くことができた。()



マザー・テレサ の場面

ここでは、テレサの写真(教科書の挿絵)または、児童にテレサの絵を描かせるなどします。

年 組

マザー・テレサ の場面

あらすじ

心に残ったテレサの言葉や行動

自分

マザー・テレサ 真鍋 和子

めあて

テレサが青空教室を始めたのはなぜか考えよう。(三の場面)

子どもたち

お金がなく、学校に行けない。

あかにまみれたほっぺ

すずしい大きなひとみが
きらきらしている



外面に感じる貧しさ

内面に感じる心の美しさ

テレサの考え

- 子どもたちに教育をあたえることが、貧しさからぬけ出す
出発点。
- みんな文字が読めるように...

青空教室



- 大きな木のかげにこしを下ろして
- ノートも黒板もない。
- ぼつで地面に文字を書いて
- 五人 二十人...
- 子どもたちの数が増えた
- 協力してくれる人が増えた。

たったひとりで
始めたことが
広がっていった。
子どもたちに
希望をあたえたかった

テレサは、子どもたちに教育をあたえ、貧しさからぬけ出させたいと考え、青空教室を始めた。

4 / 11 時間目 指導略案 ワークシート カバー

活動のねらい

テレサが貧しい人たちのためにしたことを読み取らせる。(三の場面)

1 子どもたちの様子を読み取る。

子どもたちの様子が分かる叙述に、黄線を引く。
外面と内面に分けて板書をし、テレサが見ていたのはどちらか考
える。

2 テレサがしたことや考えを叙述から探し、読み取る。

(発問) 貧しい子どもたちに対して、テレサは、なぜ青空教室を始めた
のでしょうか。
テレサの言葉や心内語に、赤線を引く。
青空教室を始めたテレサの思いを、根拠を出しながら話し合う。

3 青空教室の様子について読み取る。

青空教室の様子が分かる叙述に線を引く。
何もないところで、たった一人で始めたことが広がっていくことに
着目し、テレサの考えに迫る。

【評価】テレサの行動や言葉、心内語に表れているテレサの
思いを読み取っている。

4 ブックカバーを書き、本時の学習のまとめをする。

・ 三の場面のあらすじ、心に残ったテレサの言葉や行動、自分
の考えを条件に沿ってまとめて書く。

色分けして叙述に線を引く。(子どもたちの様子...黄線、テレサの考え...赤線)

めあて

子どもたち

外面

内面

テレサの考え

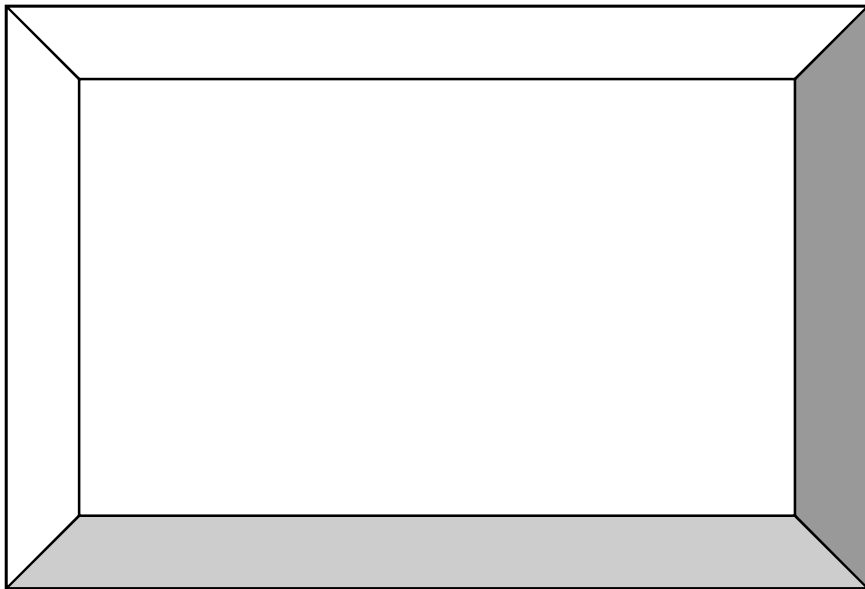
青空教室

青空教室の様子

青空教室は
どうなっていたか。

まとめ

- ・ テレサの考えや思いを考えることができた。()
- ・ 友達の考えと比べて、自分の考えを深めることができた。()
- ・ テレサの生き方について、自分の考えを書くことができた。()



マザー・テレサ の場面

ここには、テレサの写真(教科書の挿絵)または、児童にテレサの絵を描かせるなどします。

年 組

マザー・テレサ の場面

伝記には、こんなことが書かれています。

心に残った言葉や行動

マザー・テレサ 真鍋 和子

めあて (四の場面)

テレサが「孤児(こじ)の家」をスタートさせたのはなぜか考え

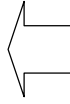
赤んぼうの様子

- ・ ごみの中にすてられていた。
- ・ やせ細ったしわだらけの赤んぼう
- ・ 泣く力もないほど、ぐったり
- ・ 町にはまだたくさんいる。

見捨てられている。命をかかえられない。「やせた」よりももっとやせてしまっている。このままでは死んでしまう。

テレサの考え

- ・ かわいそうな子どもたちを育てる施設(しせつ)を作ろう。
- ・ この世の中に生まれてきた子どもは、神様と同じ。
- ・ 多過ぎるとか、必要でないことなんか、決してない。



孤児の家

- ・ 連れてこられた子どもは、どんなにかかるうと、決して断られることがなかった。

子どもは、神様。とても大切に思っている。どんな子どもも助けた。

テレサは、子どもは神様と同じだと考え、大切に思い、どんな子どもも助ける「孤児の家」をスタートさせた。

5 / 11 時間目 指導略案 ワークシート カバー

活動のねらい

テレサが子どもたちのためにしたことを読み取らせる。(四の場面)

1 赤んぼうの様子を読み取る。

赤んぼうの様子が分かる叙述に、黄線を引く。「やせ細った」などの言語表現をとらえさせ、赤んぼうの様子を想像する。

2 テレサがしたことや考えを叙述から探し、読み取る。

(発問) 町にいっぱいいる赤んぼうや子どもたちを育てる孤児の家をスタートさせたのはなぜでしょう。

テレサの言葉や心内語に、赤線を引く。

どんな子どもでも、神様と同じだと思い、大切にしているテレサの考えを、根拠を出しながら話し合う。

3 孤児の家の様子について読み取る。

どんなにかかる子どもでも断られることがなかったことから、テレサの強い思いを読み取っていく。

【評価】テレサの行動や言葉、心内語に表れているテレサの思いを読み取っている。

4 ブックカバーを書き、本時の学習のまとめをする。

四の場面のあらすじ、心に残ったテレサの言葉や行動、自分の考えを短くまとめて書く。

色分けして叙述に線を引く。(赤んぼうの様子...黄線、テレサの考え...赤線)

めあて

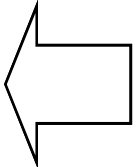
赤んぼうの様子

赤んぼうの様子から、あなたが感じたことを書きましよう。

--	--	--	--	--

テレサの考え

孤児(こじ)の家



孤児の家の様子

なぜだろう

まとめ

--

- ・ テレサの考えや思いを考えることができた。()
- ・ 友達の考えと比べて、自分の考えを深めることができた。()
- ・ テレサの生き方について、自分の考えを書くことができた。()



マザー・テレサ の場面

ここでは、テレサの写真(教科書の挿絵)または、児童にテレサの絵を描かせるなどします。

年 組

マザー・テレサ の場面

伝記には、こんなことが書かれています。

心に残った言葉や行動

マザー・テレサ 真鍋 和子
めあて

(五の場面)

テレサが「死を待つ人の家」を作ったのはなぜか考えよう。

貧しい人々の様子

- ・ やせこけた老婆(ろくば)
- ・ たおれたまま動こうとしない。
- ・ 針金のようなうで
- ・ 死にかかっている貧しい人

やせ細っている。
骨と皮だけ。
動きたくても動けない。
命が消えかかっている。
だれも助けない。

テレサの考え

- ・ 命ある人を見ずることはできない。
- ・ だれにでも、死ぬとき、「生きていてよかった。」と感じ取ってもらいたい。
- ・ 周りの人からも、神様からも、自分はだいに思われているのだ、と知ってもらいたい。

死を待つ人の家

- ・ 寺の待合室を借りた
- ・ 病気の手当て、食べ物
- ・ 死をむかえるとき「ありがとう」

貧しい人のために尽くしたい。
命ある限り、だれでも大切にされなければならぬ。

テレサは、貧しい人一人一人を大切に思い、生きていてよかったと感じて欲しいと考え、「死を待つ人の家」を作った。

6 / 11 時間目 指導略案 ワークシート カバー

活動のねらい

(五の場面)

テレサが死にかかっている人々のためにしたことを読み取らせる。

1 死にかかっている貧しい人々の様子を読み取る。

死にかかっている人の様子が分かる叙述に、黄線を引く。
「やせこけた」などの言語表現に着目し、死にかかっている人の様子を想像する。

2 テレサがしたことや考えを叙述から探し、読み取る。

(発問) 手当のしようのない人たちのために、死を待つ人の家を作ったのはなぜでしょう。
テレサの言葉や心内語に、赤線を引く。

死にかかっている人でも大切にすることをテレサの行動と考えを、叙述を基に根拠を出しながら話し合う。

3 死を待つ人の家の様子について読み取る。

死を待つ人の家の様子が分かる叙述に線を引く。
病める人たちのために働くテレサたちに向けられた、感謝の気持ちを読み取る。

【評価】 テレサの行動や言葉、心内語に表れているテレサの思いを読み取っている。

4 ブックカバーを書き、本時の学習のまとめをする。

・ 五の場面のあらすじ、心に残ったテレサの言葉や行動、自分の考えを短くまとめて書く。

色分けして叙述に線を引く。(貧しい人の様子...黄線、テレサの考え...赤線)

マザー・テレサ

名前)

(

めあて

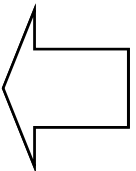
貧しい人の様子

貧しい人の様子から、あなたが感じたことを書きましよう。

--	--	--	--	--

テレサの考え

死を待つ人の家



死を待つ人の家の様子

なぜだろう

まとめ

--

- ・ テレサの考えや思いを考えることができた。()
- ・ 友達の考えと比べて、自分の考えを深めることができた。()
- ・ テレサの生き方について、自分の考えを書くことができた。()



マザー・テレサ の場面

ここには、テレサの写真(教科書の挿絵)または、児童にテレサの絵を描かせるなどします。

年 組

マザー・テレサ の場面

伝記には、こんなことが書かれています。

心に残った言葉や行動

マザー・テレサ 真鍋 和子 (六、七の場面) めあて

テレサがしたことを周りの人々はどのように考えたのだろう。

反対の考え

- ・ほんとうに、一人で行くの？
- ・インドでは、子どもが多過ぎる。
- ・それがまた、貧しい人を増やす。
- ・顔をしかめた。
- ・こんな人たちがいちいち・
- ・どうせ助からない人たちにそんなことをしても、むだではないか。
- ・お金を寄付してくれる人
- ・食べ物を持ってきてくれる人
- ・協力してくれるシスター
- ・あちこちにつくられる家。
- ・世界じゅうの人たちが共感し、えん助の手を差しのべるようになる。

テレサに共感する考え

テレサ ノーベル平和賞を受賞

- 「世界じゅうの貧しい人に代わって、この賞を受けることにします。」
- ・ふだん着の白いサリーに、かわぞつり
 - ・貧しい人と同じ物を食べ、同じ所に住んでいる。
 - ・おしめない拍手
- 明るくて気さくな、アイディアとユーモアにあふれた人として、だれからもしたわれている。

テレサが一人で始めたことであつたが、周りの人々はだんだんと共感するようになっていった。

7 / 11 時間目 指導略案 ワークシート カバー (六、七の場面) 活動のねらい

周りの人々がだんだんテレサの考えに共感していったことを読み取らせる

- 1 テレサがしたことについての周りの人たちの考えが分かる叙述を探し、**反対と賛成に分けて線を引く。**
 - ・ 反対の考えに青線を、共感する考え（賛成）が分かる叙述に桃線を引く。
- 2 周りの人々のテレサに共感する考えについて、**叙述を根拠に交流する。**（発問）テレサに共感する考えをもつ人たちは、どのように変わっていったのかを発表しましょう。
 - ・ 共感していった人がだんだん増えていった。
 - ・ 反対の考えをもっていた人たちも、テレサのがんばりに心打たれて、援助の手を差しのべるようになった。
- 3 ノーベル賞を受賞したテレサの言動や周りの人の様子から、**テレサの生き方や考え方を読み取る。**

テレサの授賞式での言葉や姿を根拠に、テレサの生き方や考え方を話し合おう。

会場の人たちのテレサに対する考えを、叙述を根拠に話し合おう。
- 4 **ブックカバーを書き、本時の学習のまとめをする。**
 - ・ 六、七の場面のあらすじ、心に残ったテレサの言葉や行動、自分の考えを短くまとめて書く。

【評価】テレサの周りの人々の行動や言葉に表れている考えを読み取っている。

色分けして叙述に線を引く。(反対の考え...青線、共感する考え...桃線)

めあて

反対の考え

テレサに共感する考え

テレサ)

(を受賞

「テレサの言葉

」

テレサの姿

周りの人々

--	--

まとめ

--

- ・ テレサの考えや思いを考えることができた。()
- ・ 友達の考えと比べて、自分の考えを深めることができた。()
- ・ テレサの生き方について、自分の考えを書くことができた。()



マザー・テレサ の場面

ここには、テレサの写真(教科書の挿絵)または、児童にテレサの絵を描かせるなどします。

年 組

マザー・テレサ の場面

伝記には、こんなことが書かれています。

心に残った言葉や行動

マザー・テレサ 真鍋 和子
めあて

テレサの生き方について考えよう。(七、八、九の場面)
〜今も人々の中に生きている「テレサの心」とは、何だろう。〜

テレサの心

貧しい人は神様と同じ

- ・ 貧しい人たちのために働くことは神様のために働くこと
- ・ 神様につかえる者として、何よりも大きな喜び
- ・ 貧しい人は美しい。
- ・ 自分が苦しいときも人に分け与えることができる



- ・ 一人一人の人間を限りなく大切に
- ・ 心の底から人を愛する

今も人々の中に生きているテレサの心

テレサ、生がいをとじる(一九九七年)

- ・ 数十万の人々でうずまる
 - ・ 貧しい人たちによる手製の祭壇
 - ・ いつまでも花が絶えない
- 死をおしむ人々
感謝の気持ち
受けつぐ気持ち

一人一人の人間を限りなく大切にしたい生き方・考え方が、
今も世界中の人々に共感され、受けつがれている。

8 / 11 時間目 指導略案 ワークシート カバー
活動のねらい (七、八、九の場面)

テレサの心とは何か考え、テレサの生き方について読み取らせる。

1 テレサの心を表現している叙述を探して読み取る。

- テレサの心が分かる叙述に、赤線を引く。
- 「貧しい人は神様と同じ」「貧しい人は美しい」の言語表現をとらえ、言いかえればどういうことなのかを叙述から探す。
- テレサの一番強い思い(心)とは何か考える。
- (発問)今も人々の中に生きているテレサの心とは、何でしょう。
- テレサの心を考えることで、それを貫いた生き方につなげていく。

2 テレサの心が今も受け継がれていることを読み取る。

- テレサが生涯を閉じた後の、人々の行動に着目する。
- 亡くなった後も、人々の中に生きている心について、根拠を出しながら話し合う。

【評価】叙述に即して、伝記に描かれたテレサの行動や考え、
生き方を読み取っている。

3 ブックカバーを書き、本時の学習のまとめをする。

- ・ 七、八、九の場面のあらすじ、心に残ったテレサの言葉や行動、自分の考えを短くまとめ書く。

色分けして叙述に線を引く。(テレサの心...赤線)

めあて

テレサの心（文中から抜き出す）

どういうことだろう。ちがう言葉や文で書いてみよう。

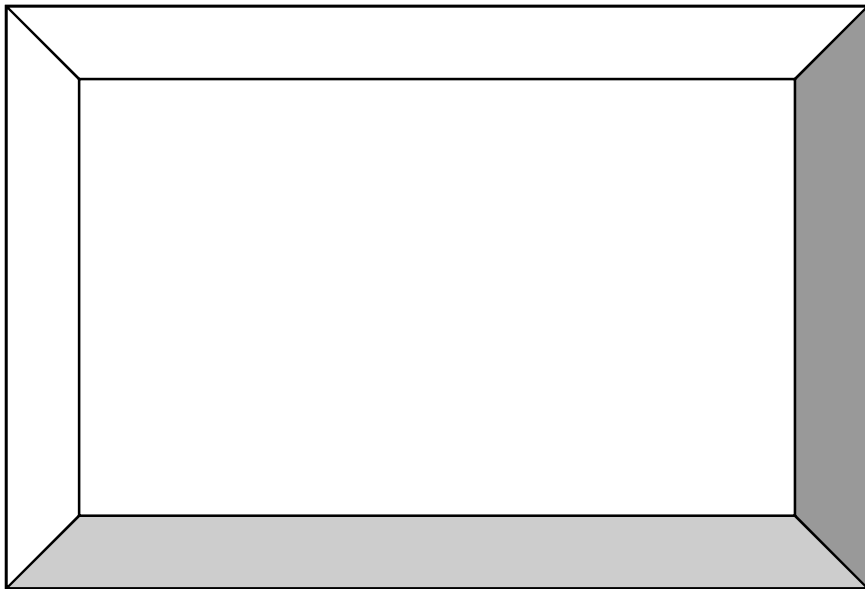
今も人々の心の中に生きているテレサの心

一九九七年 生がいをとじたときの様子。

なぜだろう

まとめ

- ・ テレサの考えや思いを考えることができた。()
- ・ 友達の考えと比べて、自分の考えを深めることができた。()
- ・ テレサの生き方について、自分の考えを書くことができた。()



マザー・テレサ

ここでは、テレサの写真(教科書の挿絵)または、児童にテレサの絵を描かせるなどします。

年 組

マザー・テレサ

伝記に書かれているテレサの生き方。

心に残った言葉や行動

マザー・テレサ 真鍋 和子
めあて

伝記をしょうかいするブックカバーを作ろう。

カバーにかく内容（紹介することから）

- ・ 書名と作者名
- ・ 人物を表す短い言葉
- ・ 人物の絵
- ・ あらすじ
- ・ 心に残った言葉や行動
- ・ 自分の考え

カバー作成の手順

- ・ 伝記を読みながら、印象に残った言葉や文章をメモする。メモをもとに、しょうかいすることからを整理する。
- ・ 読み手に伝わるように、しょうかい文を書く。
- ・ 読み手の関心を引く書き出しの工夫
- ・ 事実の引用
- ・ 会話文の引用
- ・ 心に残った言動に対する自分の感想や意見しょうかい文をすいこつする。
- ・ わかりにくい言葉はよりよい表現に書き直す。
- ・ 事実と自分の感想や意見は区別しているか確認する。
- ・ 漢字を正しく使う。

読み手に内容が伝わるように、工夫してブックカバーを作ろう。

9、10 / 11時間目 指導略案 ワークシート カバー
活動のねらい

興味がある伝記を読み、本のカバーにまとめる。

1 カバーに書く内容を確認する。

「マザー・テレサ」で学習したことを想起し、22ページの本のカバーを参考にし、同じように本のカバーを書くことを確認する。

カバーに書く内容を決定する。

2 カバーを書くための手順を確認する。

（発問）カバーを書くためには、どんな手順で、どんなことに気を付けて読んだり書いたりするとよいでしょう。

伝記を読みながら、心に残る言葉や文章をメモする。メモの内容をカバーのどこにまとめていくか考える。読み手を意識した内容にする。

伝記の内容を短く、的確にまとめるのに効果的な表現を考え、推こつしていく。

3

【評価】紹介する伝記の内容が読み手に伝わるように、本のカバーの内容を書くことができる。

4 次時の予告を聞く。

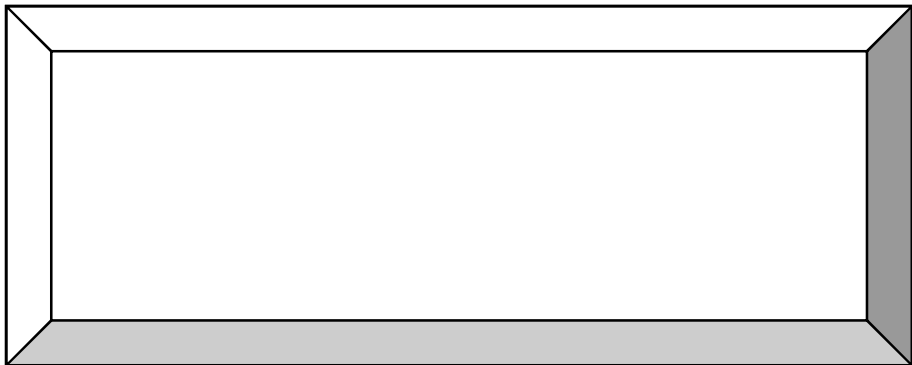
お互いにブックカバーを読み合い、伝記の紹介をしていくことを知る。

マザー・テレサ

名前)

)

自分の考え・感想	印象に残った言葉や場面	あらすじ	自分で考えた本のタイトル	伝記の書名 作者



A simple horizontal rectangular box for writing.

年 組

伝記には、こんなことが書かれています。

心に残った言葉や行動

A large, irregularly shaped box with a jagged bottom-right corner, intended for writing.

マザー・テレサ 真鍋 和子

めあて

伝記を紹介し、感想を伝え合おう。

読み手に内容が伝わるように話そう。
友達の発表を聞いて、感想を伝え合おう。

世界で一つだけのブックカバー

児童の作品をはる

児童の作品

児童の作品

ここには児童の作品を掲示する。

感想

- ・ 友達の紹介を聞いたこと、その伝記の本も読みたいと思った。
- ・ かんたんに分かりやすく文章にまとめる力がついたら。
- ・ このカバーは、本につけて、図書室や学級文庫で本を選ぶときに役立てていきたい。

11 / 11 時間目 指導略案 ワークシート
活動のねらい

伝記のカバーを紹介し合い、感想を伝え合おう。

1 グループ内で、ブックカバーを利用しながら伝記の紹介をする。

- ・ 五人程度のグループを作り、伝記を紹介し合う。
相手に伝わる声の大きさ、読み方を考え、組み立てを工夫して発表させる。

事柄ごとに整理して聴かせることで、話の内容を正確に聞き取らせる。

2 伝記紹介の内容について、交流し合う。

- ・ レイアウトや内容
 - ・ 読みたくなった本とその理由
 - ・ もっと知りたい内容
- (発問) 友達の発表を聞いて、工夫されていたところや、よかったところを発表しましょう。

3 学習の成果を確かめる。

学習を振り返って、身に付いた力(読みの力、書く力)を意識させる。

今後も、様々な伝記に興味をもって読み進めていくことができるように意欲付けをする。

【評価】 紹介する伝記の内容や、読んで考えたことを整理して話している。